



取扱説明書

DuraVision[®] MDU5501WT

タッチパネル装着カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書およびセットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

- ・ モニターの設置 / 接続については、セットアップマニュアルを参照してください。
- ・ 取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。

www.eizo.co.jp

-
- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
 - 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
 - 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
 - 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
-

モニターについて

使用について

セットアップマニュアルに記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、当社が指定する電源コードおよび信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社別売オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

液晶パネルについて

モニターの表示が安定するまでに、約30分（当社測定条件による）かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。

長時間使用することによる画面品位の劣化を抑え、長くご使用いただくには、「ブリリアンス」の設定を下げ使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。

表示状態を長時間続けると、表示面に黒いシミやムラ、焼き付きが発生する場合がありますのでご注意ください。モニターを長くお使いいただくため、定期的にモニターの電源をオフにすることを勧めます。

液晶パネル面に洗剤や熱湯をかけたり、火を近づけたりすると、表面のコーティングが剥がれて跡が残る場合がありますのでご注意ください。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、有効ドット数の割合は99.9994%以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。長時間連続使用など、ご使用状態によっては、バックライトの寿命が早まり、交換が必要となる場合があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

液晶パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

（タッチパネル使用時の注意事項）

次の点に注意してください。故障の原因となります。

- タッチパネルの上に物を置かないでください。
- タッチパネルを強く押したり、こすったり、突いたりしないでください。
- ボールペンや金属類などの硬い物でタッチパネルをタッチしないでください。

設置について

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります

タッチパネルの裏面に結露が発生することがありますが、故障ではありません。しばらく経つと結露はなくなります。

メンテナンスについて

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「クリーニングの仕方」（P.4）参照）。

クリーニングの仕方

キャビネットや液晶パネル面の汚れは、付属のクリーニングクロスを使用して、やさしくふき取ってください。

注意点

- 液晶パネル面に水などの液体が付着した場合は、タッチ操作に影響する可能性がありますので、すぐにふき取ってください。
 - アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットや液晶パネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
 - シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナーは、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。
-

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

目次

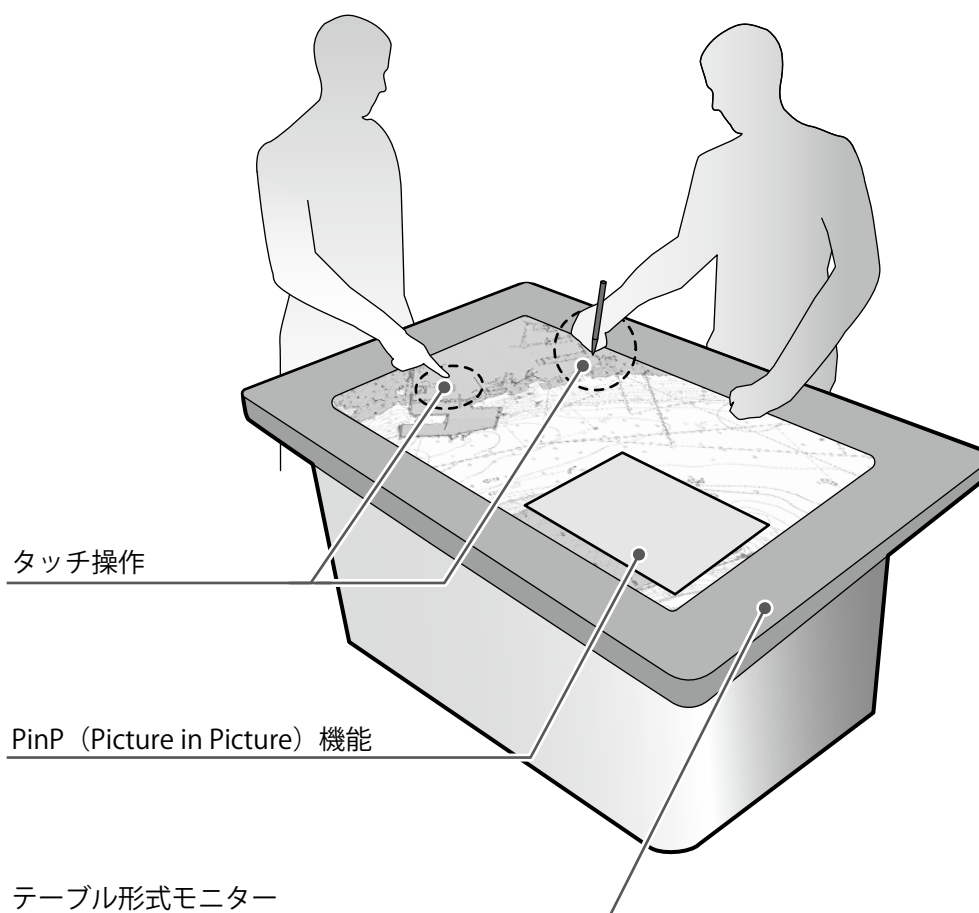
モニターについて.....	3	付録.....	32
クリーニングの仕方.....	4	商標.....	32
モニターを快適にご使用いただくために.....	4	ライセンス.....	32
目次.....	5	試験規格.....	32
第1章 はじめに.....	6	船級型式承認.....	32
1-1. 特長.....	6	その他規格.....	33
1-2. 各部の名称と機能.....	7		
● 前面 / 背面.....	7		
● 側面.....	8		
第2章 画面を調整する.....	10		
2-1. 明るさを調整する.....	10		
2-2. 入力信号を切り替える.....	10		
2-3. 詳細な調整 / 設定をおこなう.....	11		
● 調整メニューの基本操作方法.....	11		
● カラー調整.....	12		
● 信号設定.....	14		
● 本体設定.....	16		
● 言語選択.....	17		
● インフォメーション.....	17		
第3章 管理者向け設定.....	18		
3-1. 「管理者設定」メニューの基本操作方法.....	18		
3-2. 「管理者設定」メニューの各機能.....	19		
第4章 こんなときは.....	21		
4-1. 画面が表示されない場合.....	21		
4-2. 画面に関する症状.....	22		
4-3. タッチパネルに関する症状.....	23		
4-4. その他の症状.....	25		
第5章 メンテナンス.....	26		
5-1. 冷却ファンの交換方法.....	26		
5-2. ブザー警告音の定期確認.....	28		
第6章 ご参考に.....	29		
6-1. 仕様.....	29		
● 主な初期設定値.....	30		
6-2. 対応解像度.....	31		

第1章 はじめに

このたびは当社タッチパネル装着カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 55型画面により、紙海図を広げたような感覚で電子海図を見ることができます。
- 解像度：4K（3840×2160）対応
- テーブル形式で使用できます。
- タッチパネルを装備。画面をタッチして操作できます。
 - 手のひらなど、指より広い面積で触れた際の誤入力を防ぐ「パームリジェクション機能」を搭載。
 - 水や異物を検知している間、タッチ操作を無効にする「ウォーターディテクション機能」を搭載。
- PbyP（Picture by Picture）機能、およびPinP（Picture in Picture）機能を搭載。複数の画像を同時に表示することができます。

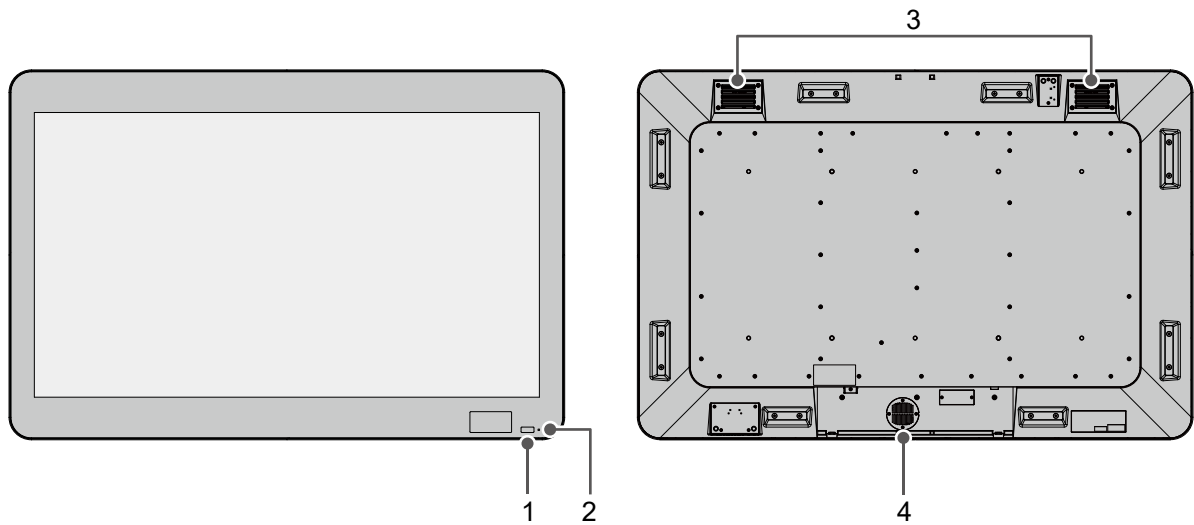


注意点

- テーブル形式で使用する場合は、モニターの上に水や物を置かないでください。誤動作につながる場合があります。

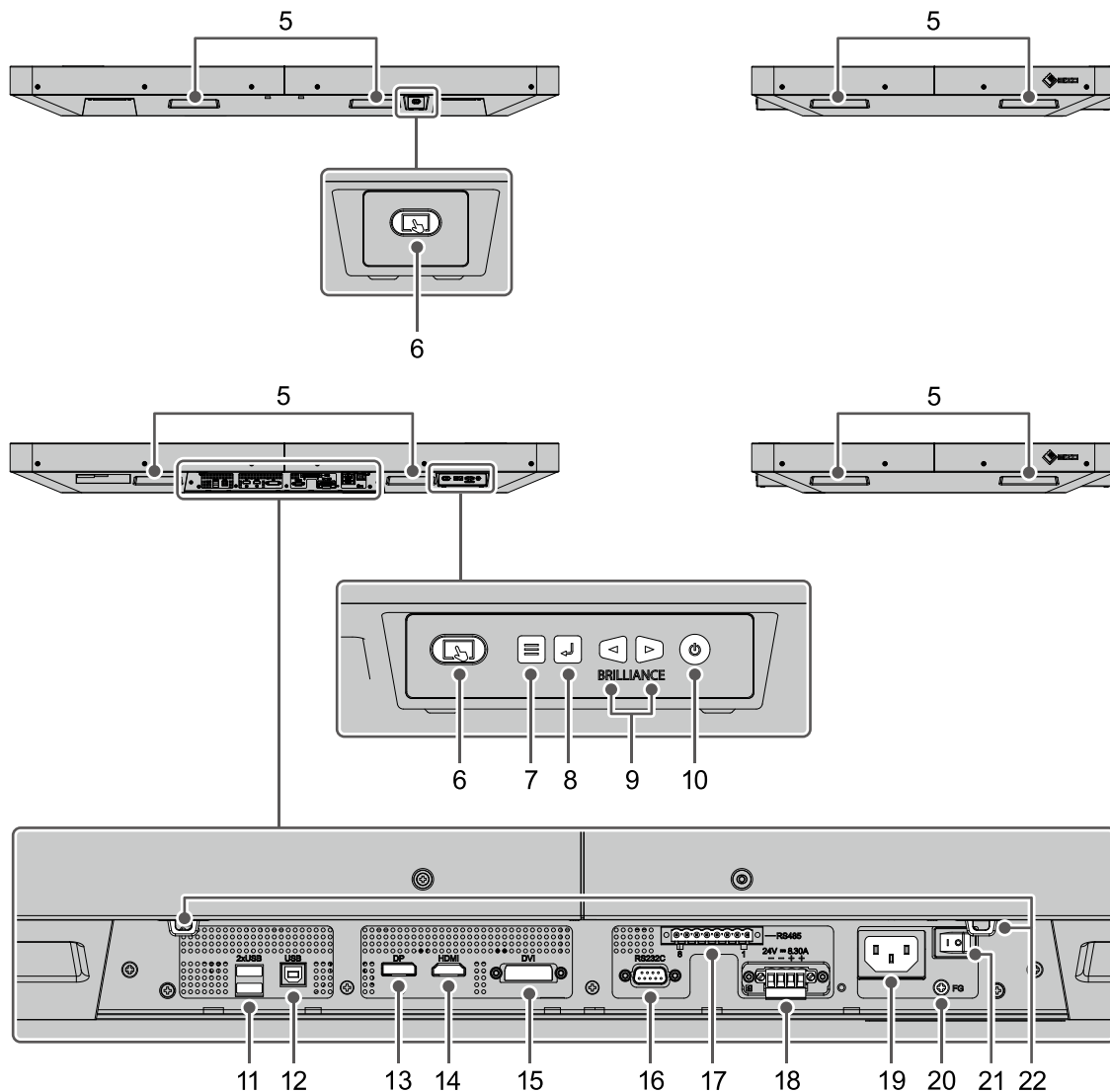
1-2. 各部の名称と機能







● 前面 / 背面



<p>1. ECDIS インジケータ</p>	<p>モニターのブリリアンスがECDISの調整値に設定されている場合は、「ECDIS」という文字が緑色に点灯します。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> • ECDISインジケータは、次の場合は点灯しません。 <ul style="list-style-type: none"> - 「ECDISインジケータ」：「オフ」時 - 「カラーモード」：「Custom」時 - モニターのブリリアンスがECDISの調整値からはずれている - 正しい信号が入力されていない • この製品は、0° ~90° の範囲で設置できますが、ECDIS用の出荷調整はモニターを垂直にした状態でおこなっています。
<p>2. 電源ランプ</p>	<p>モニターの動作状態を表します。</p> <p>緑点灯：通常動作モード 緑点滅：省電力モード 消灯：電源オフ</p>
<p>3. 冷却ファン</p>	<p>冷却用のファンです。製品内部が高温になると作動します。</p>
<p>4. ブザー</p>	<p>システム側からの制御によりブザー警告音を鳴らすことができます。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> • システム側からの制御の詳細は、別紙のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

● 側面



5. 持ち手	運搬用の持ち手です。
6.  ボタン	<p>タッチパネル操作の有効 / 無効を切り替えます。 タッチパネル操作を有効にすると、ボタンが青色に点灯します。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボタンは2箇所にあります。モニターの設置位置に応じて、操作しやすい方をご使用ください。 ・タッチパネル操作が有効な状態でボタンを2秒以上押すと、タッチパネルのキャリブレーション（感度調整）が実行されます。
7.  ボタン	調整メニューを表示したり、調整 / 設定をキャンセルします。
8.  ボタン	入力中の信号名を表示します。または、調整メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します。
9.  ボタン	画面の明るさを調整します。または、調整メニューの選択や、機能の調整 / 設定をします。
10.  ボタン	電源のオン / オフを切り替えます。 電源を切るときは、  を5秒以上押します。電源が切れるまでの残り時間が表示された後、電源が切れます。
11. USBダウンストリームポート	USB2.0に対応している周辺機器と接続できます。

12. USBアップストリームポート	次のいずれかをおこなう場合にUSBケーブルを接続します。 <ul style="list-style-type: none"> • タッチパネルを使用する。 • USB経由でモニターを制御する。 • USBハブ機能を使用する。
13. DisplayPortコネクタ	コンピュータのDisplayPort信号を入力します。
14. HDMIコネクタ	コンピュータのHDMI信号を入力します。
15. DVI (DVI-D) コネクタ	コンピュータのDVI信号を入力します。
16. RS232Cポート	D-Sub9ピン (メス) コネクタ RS-232C通信でモニターを制御する場合に接続します。
17. RS485ポート	RS-485通信でモニターを制御する場合に接続します。
18. DC電源コネクタ	DC電源端子台を取り付けます。 出荷時はDC電源端子台が取り付けられています。
19. AC電源コネクタ	電源コードを接続します。 出荷時は絶縁カバーが付いています。
20. 機能接地端子 (FG)	機器の安定動作を目的とした接地 (機能接地) のための端子です。 ねじ穴は、M4 (呼び径4 mm)、深さ 6 mmです。
21. AC主電源スイッチ	AC主電源のオン / オフを切り替えます。 : オン、○ : オフ
22. 結束バンドホルダー	ケーブルを固定するための結束バンドを取り付けます。

第2章 画面を調整する

参考

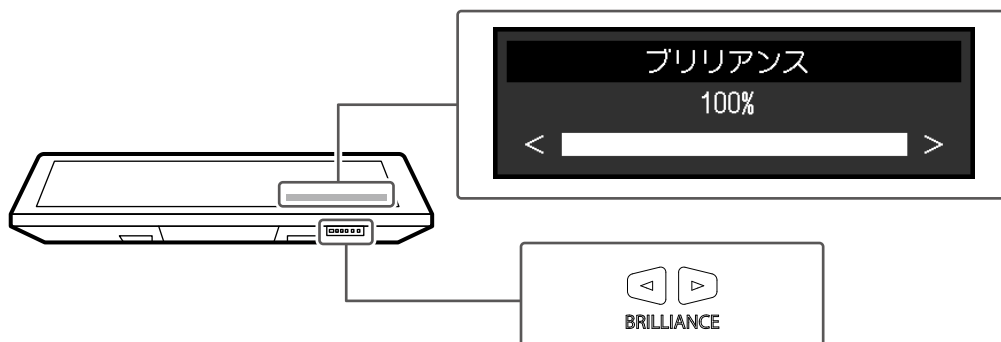
- この製品の言語の初期設定は英語ですが、この取扱説明書内では日本語のメニュー画面を使用しています。言語の切り替えについては、「言語選択」(P.17)を参照してください。

2-1. 明るさを調整する

設置環境やお好みに合わせて、画面の明るさを調整できます。

設定範囲

0% ~ 100%

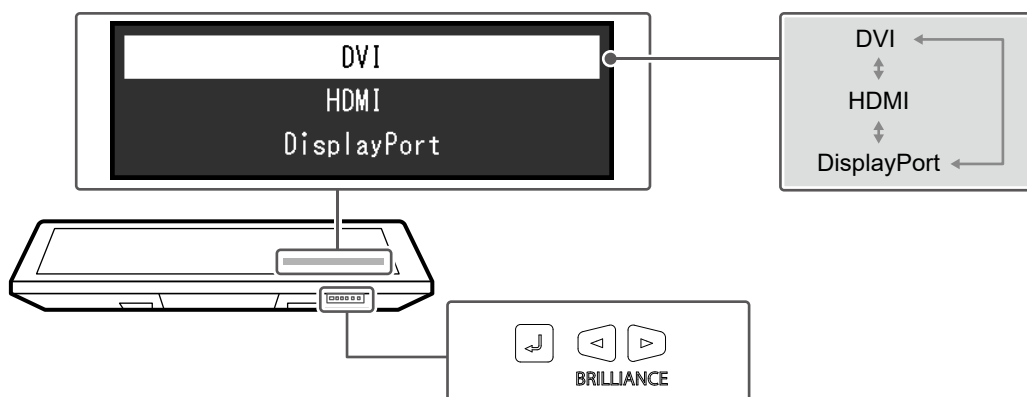


2-2. 入力信号を切り替える

モニターに複数の信号を入力している場合、画面に表示する信号を切り替えることができます。

設定方法

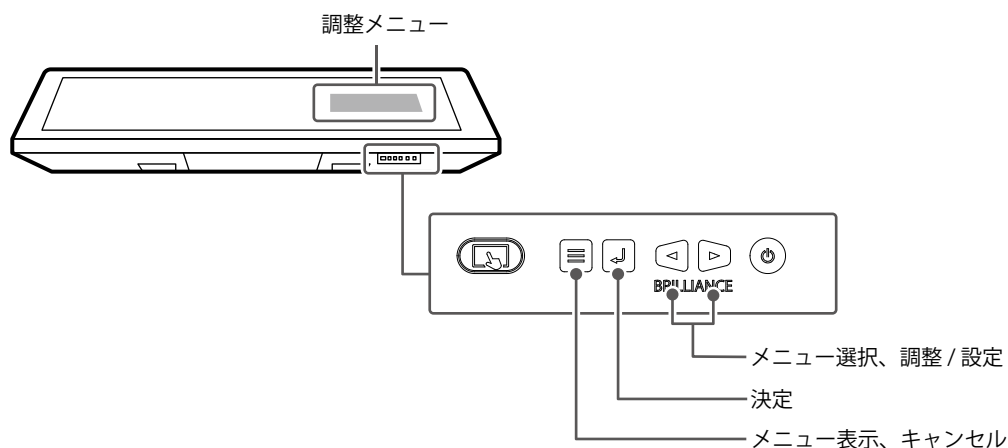
- ↓ を押します。
現在表示している信号のコネクタ名が画面右下に表示されます。
- <> を押して、信号を切り替えます。
- ↓ を押して確定します。



2-3. 詳細な調整 / 設定をおこなう

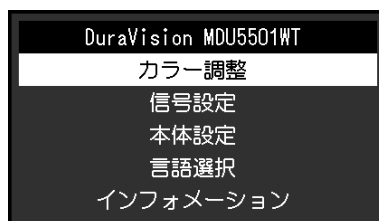
調整メニューを使用すると、詳細な調整 / 設定をおこなうことができます。

● 調整メニューの基本操作方法



1. 調整メニューの表示

1. ≡ を押し、調整メニューを表示します。



2. 調整 / 設定

1. <> で、調整 / 設定したいメニューを選択し、↵ を押します。



2. <> で、調整 / 設定したい項目を選択し、↵ を押します。



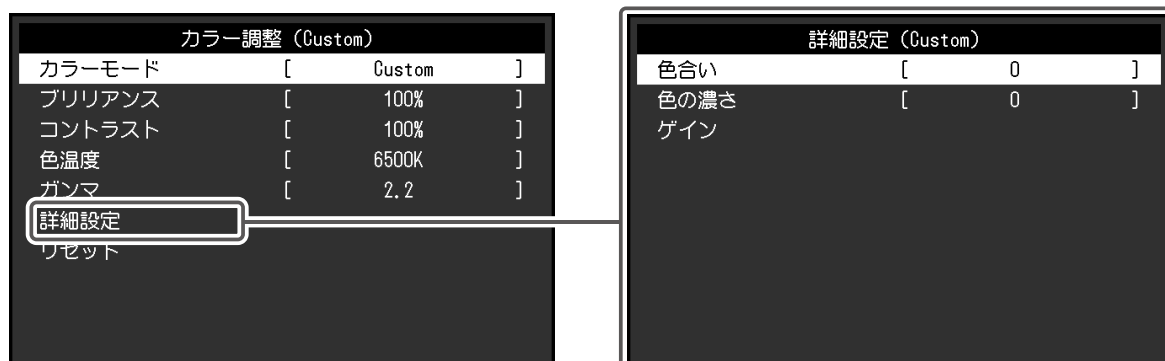
3. <> で、値を調整 / 設定し、↵ を押して確定します。

3. 終了

1. ≡ を数回押すと、メニューが終了します。

● カラー調整

Customで表示している場合は、カラーモードの色設定を、お好みに合わせて調整できます。



注意点

- ・モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- ・「%」、「K」表示は調整の目安としてご利用ください。

機能	設定値	説明
カラーモード	Custom Day Dusk Night	表示モードを切り替えます。 ECDIS規格に準拠した3つのモード (Day、Dusk、Night) と、お好みに応じた設定ができるモード (Custom) があります。
ブリリアンス	0%~100%	バックライト (液晶パネル背面の光源) の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。 参考 <ul style="list-style-type: none"> ・0%は、「バックライト・オフモード」が「オン」の場合のみ設定できます。 ・直接<または>を押して設定することもできます (「2-1. 明るさを調整する」 (P.10) 参照)。 ・<または>を長押ししてブリリアンスを調整している際、初期設定値に達すると、調整を止めます。再度<または>を押すと調整を続けることができます (「ECDISインジケータ」：「オン」、「カラーモード」：「Day」、「Dusk」、「Night」時)。 注意点 <ul style="list-style-type: none"> ・初期設定以外の値に変更すると、ECDIS規格に準拠した表示ができなくなります。
コントラスト※1	0%~100%	画面の明るい部分と暗い部分との明暗の差を調整します。 参考 <ul style="list-style-type: none"> ・コントラストが50のとき、すべての色階調が表示できます。

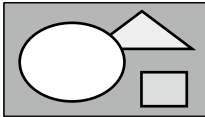

機能	設定値	説明
色温度 ^{※1}	Native 4000 K~10000 K User	<p>色温度を調整します。 「白」の色度を表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。 炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。</p> <p>100K単位で色温度値を設定するか、または「Native」を選択します。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Native」を選択すると、液晶パネル本来の色（ゲインの値はRGB各100%）で表示されます。 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です。ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。 色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。
ガンマ ^{※1}	1.6~2.7	<p>ガンマ値を調整します。 モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。</p>
詳細設定 ^{※1}	色合い	<p>-100~100</p> <p>色合いを調整します。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
	色の濃さ	<p>-100~100</p> <p>色の濃さを調整します。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
	ゲイン	<p>0%~100%</p> <p>色を構成する赤（Red）、緑（Green）、青（Blue）のそれぞれの明るさを調整します。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。 ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
リセット		カラー設定を初期状態に戻します。

※1 「カラーモード」が「Custom」のときに設定できます。

● 信号設定

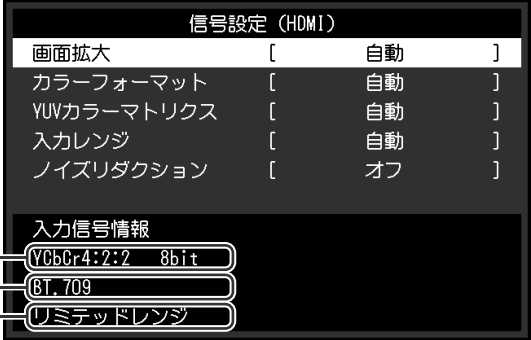
画面の表示サイズやカラーフォーマットなど、入力信号の詳細を設定します。

信号設定 (HDMI)		
画面拡大	[自動]
カラーフォーマット	[自動]
YUVカラーマトリクス	[自動]
入力レンジ	[自動]
ノイズリダクション	[オフ]
入力信号情報		
YCbCr4:2:2 8bit		
BT.709		
リミテッドレンジ		

機能	設定値	説明
画面拡大	自動 フルスクリーン アスペクト比固定 等倍	<p>モニター画面に表示するサイズを切り替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自動」 入力信号の解像度情報とアスペクト比情報に応じて、自動的に表示サイズを切り替えます (HDMI入力のみ有効)。 「フルスクリーン」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定とは限らないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。 「アスペクト比固定」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。 「等倍」 設定した解像度のまま、または入力信号のままの大きさで画像が表示されます。 <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定例 <ul style="list-style-type: none"> - フルスクリーン  - アスペクト比固定  - 等倍 (入力信号) 
カラーフォーマット	自動 YUV※1 YUV 4:2:2※2 YUV 4:4:4※2 RGB	<p>入力信号のカラースペースを指定できます。正しい色が表示できない場合に、設定を変更してみてください。通常は、「自動」を選択してください。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> RGBで信号が入力されている状態で、「自動」または「RGB」を選択した場合のみECDIS規格に準拠します。 DVI入力の場合は設定できません。

※1 DisplayPort入力の場合のみ有効

※2 HDMI入力の場合のみ有効

機能	設定値	説明
YUVカラーマトリクス	自動 BT.601 BT.709 BT.2020	YUVカラーマトリクスの変換係数を選択します。入力信号の問題で階調潰れなど正しく画像が表示できない場合に使用します。 参考 • DVI入力の場合は設定できません。
入力レンジ	自動 フル リミテッド	外部機器によっては、モニターに出力する信号のビデオレベルの黒および白が制限されていることがあります。制限されたままモニターに信号を表示すると、黒が淡く、白がくすんで表示され、コントラストが低下します。このような信号を、モニター本来のコントラスト比になるように、輝度レンジを拡張して表示することができます。 • 「自動」 入力信号の輝度レンジを自動的に判別し、適切に表示します。 • 「フル」 入力信号の輝度レンジの拡張をおこないません。 • 「リミテッド」 入力信号の輝度レンジを16~235（10ビット：64~940）から0~255（10ビット：0~1023）に拡張して表示します。 参考 • フルレンジで信号が入力されている状態で、「自動」または「フル」を選択した場合のみECDIS規格に準拠します。 • DVI入力の場合は設定できません。
ノイズリダクション	オン オフ	映像の暗い部分に発生する細かいノイズを低減します。映像のノイズやざらつきを低減したい場合に使用します。 参考 • HDMI入力の場合のみ設定できます。 • 次の解像度の信号を入力している場合は、「オン」に設定しても動作しません。 1600×1200 / 1920×2160 / 3840×2160 HDMIの対応解像度については、「6-2. 対応解像度」(P.31)を参照してください。 • ノイズリダクション機能を利用すると、精細な画像が損なわれる場合があります。
入力信号情報	—	入力信号の情報を確認できます。表示される情報は次のとおりです。 1. カラーフォーマット 色深度 2. カラリメトリ 3. 入力レンジ  参考 • 入力信号によっては、表示されない情報があります。

● 本体設定

使用環境やお好みに合わせて、モニター本体の設定をおこないます。

本体設定		
入力	[DVI]
パワーセーブ	[オン]
ランプ輝度	[4]
PinP		
PbyP		
オールリセット		

機能		設定値	説明
入力		DVI HDMI DisplayPort	入力信号を選択します。
パワーセーブ		オン オフ	外部機器の状態と連動して、モニターを省電力モードにすることができます。 信号が入力されなくなったことを検出してから、約15秒後に省電力モードに移行します。省電力モードに移行すると、画面を非表示にします。 <ul style="list-style-type: none"> 省電力モードからの復帰方法 <ul style="list-style-type: none"> - モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。 参考 <ul style="list-style-type: none"> 省電力モードの移行の5秒前になると、移行をお知らせするメッセージが表示されます。 モニターを使用しないときは、主電源スイッチをオフにすることで電力が消費されなくなります。 省電力モードの場合も、USBダウンストリームポートに接続している機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
ランプ輝度		1~7	画面表示時の電源ボタンおよび操作ボタンの明るさを設定することができます。(初期設定：4)
PinP	入力	オフ DVI HDMI DisplayPort	2画面表示 (PinP) をおこなう際の子画面に表示する入力信号を選択します。 「PbyP」を有効にすると、「オフ」になります。
	ポジション	右上 右下 左下 左上	子画面の表示位置を選択します。
	サイズ	スモール ミディアム ラージ	子画面のサイズを選択します。
	解像度	オート マニュアル	子画面の解像度を選択します。 「オート」を選択すると、子画面の最大解像度が自動的に1920 × 1080に変更されます。 「マニュアル」を選択すると、子画面の解像度は変更されません。手動で解像度を変更してください。 参考 <ul style="list-style-type: none"> DVIコネクタをお使いの場合は対象外です。

機能		設定値	説明
PbyP	入力	オフ DVI HDMI DisplayPort	2画面表示（PbyP）をおこなう際の右画面に表示する入力信号を選択します。 「PinP」を有効にすると、「オフ」になります。
オールリセット		OK キャンセル	次の設定を除く、すべての設定内容を初期設定に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> ・「管理者設定」メニュー内の設定 ・「本体設定」メニュー内の「入力」、「PinP」 - 「入力」 / 「ポジション」 / 「サイズ」 / 「解像度」、「PbyP」 - 「入力」 ・タッチパネル操作の有効 / 無効

● 言語選択

メニューやメッセージの表示言語を選択することができます。

設定値

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語、簡体中国語、繁体中国語



● インフォメーション

モニターの情報（製品名、製造番号(S/N)、使用時間）と、入力信号の情報を確認することができます。

例：



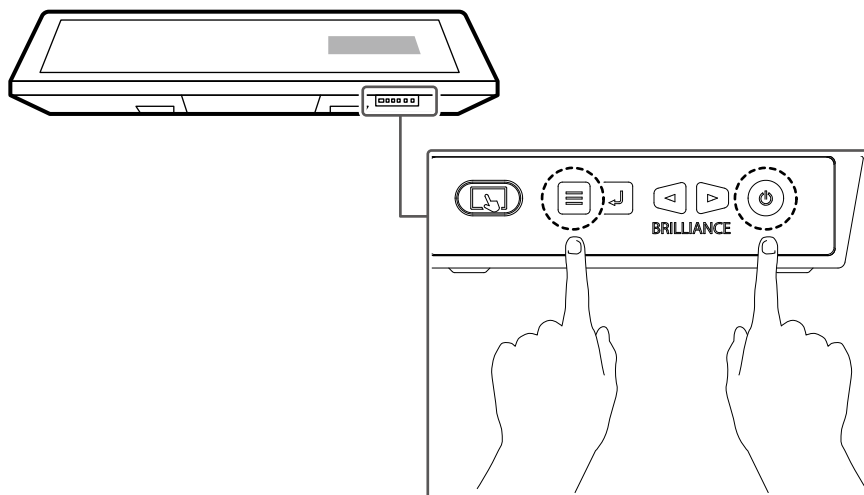
第3章 管理者向け設定

この章では、「管理者設定」メニューを使ってモニターの動作を設定する方法を説明します。

3-1. 「管理者設定」メニューの基本操作方法

1. メニューの表示

1. 電源ボタンを5秒以上押して、モニターの電源を切ります。
2. 設定メニューボタンを押しながら、電源ボタンを2秒以上押してモニターの電源を入れます。



「管理者設定」メニューが表示されます。

管理者設定		
入力自動検出	[オフ]
起動ロゴ	[オン]
操作ロック	[オフ]
バックライト・オフモード	[オフ]
ECDIS インジケータ	[オン]
RS-232C / RS-485		
完了		

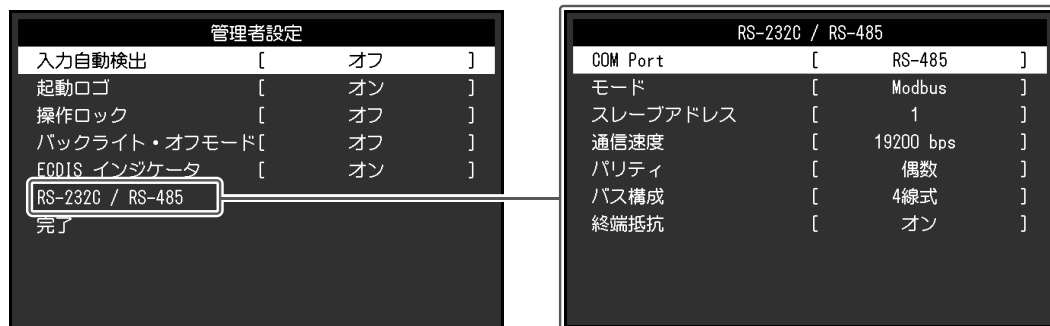
2. 調整 / 設定



1. <> で、調整 / 設定したい項目を選択し、↵を押します。
2. <> で、値を調整 / 設定し、↵を押します。

3. 確定と終了

1. 「完了」を選択し、↵を押します。
設定が確定し、「管理者設定」メニューが終了します。

3-2. 「管理者設定」メニューの各機能



機能	設定値	説明
入力自動検出	オフ オン	この機能を「オン」に設定すると、信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示することができます。選択しているコネクタの入力信号がなくなると、自動的に他の信号を表示します。 「オフ」に設定すると、信号が入力されているかどうかにかかわらず、選択しているコネクタからの信号が表示されます。この場合は、モニター側面（電源コネクタがある面）の操作ボタン（ )で、表示する入力信号を選択してください。 参考 ・ 2画面表示（PinPまたはPbyP）をおこなっている場合は「オフ」になります。
起動ロゴ	オフ オン	この機能を「オフ」に設定すると、製品の電源を入れた際に表示されるEIZOロゴを非表示にすることができます。
操作ロック	オフ メニュー オール	設定した状態を変更できないように、モニター側面（電源コネクタがある面）の操作ボタンをロックすることができます。 ・ 「オフ」（初期設定） すべてのボタンが有効です。 ・ 「メニュー」  ボタンをロックします。 ・ 「オール」 電源ボタンを除くすべてのボタンをロックします。 参考 ・ ロックがかかっている状態で、ボタンを操作すると「Locked」と画面に表示されます。
バックライト・オフモード	オフ オン	「オン」の場合、「ブリリアンス」を下限値にすると、バックライトが消灯し画面が真っ暗になります。（ただし、調整メニュー表示時、入力信号エラー表示時、EIZOロゴ表示時などを除く） 「オフ」の場合、「ブリリアンス」を下限値にしても、画面は真っ暗になりません。
ECDIS インジケータ	オン オフ	この機能を「オン」に設定すると、ECDISインジケータが点灯します。 参考 ・ ECDISインジケータは、次の場合は点灯しません。 - 「ECDISインジケータ」：「オフ」時 - 「カラーモード」：「Custom」時 - モニターのブリリアンスがECDISの調整値からはずれている - 正しい信号が入力されていない

	機能	設定値	説明
RS-232C / RS-485	COM Port	RS-232C RS-485	モニター制御に使用するCOMポートを選択します。
	モード	Modbus ECOM	通信モードを選択します。
	スレーブアドレス ^{※1}	1~247 ^{※3}	スレーブアドレスを設定します。
	通信速度 ^{※1、※2}	19200 bps 9600 bps	伝送速度を設定します。
	パリティ ^{※1、※2}	偶数 奇数 なし	パリティチェックの方式を設定します。
	バス構成 ^{※1}	4線式 2線式	半二重通信か全二重通信かを選択します。
	終端抵抗 ^{※1}	オン オフ	通信経路に終端装置を設置している場合は「オフ」に設定してください。



※1 「COM Port」が「RS-485」のときに設定できます。

※2 「モード」が「Modbus」のときに設定できます。

※3 「モード」が「ECOM」のときの設定範囲は0~15です。

第4章 こんなときは

4-1. 画面が表示されない場合



症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない ・すべての操作ボタンが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードは正しく接続されていますか。 主電源を入れてください。 主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 低温環境下でモニターを使用している場合は、電源を入れた状態でしばらく待ってから、一度電源を切り、再度電源を入れてください。
・  ボタンのみ点灯：緑色	<ul style="list-style-type: none">  を押してください。
・すべての操作ボタンが点灯：緑色 または  ボタンが点滅：緑色	<ul style="list-style-type: none"> 画面の明るさを調整してみてください。 マウス、キーボードを操作してみてください。 コンピュータの電源は入っていますか。 入力信号を切り替えてみてください（「2-2. 入力信号を切り替える」(P.10) 参照）。
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
・信号が入力されていない場合の表示です。 例： <div data-bbox="284 1124 657 1261" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> DVI 入力信号無し </div>	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 コンピュータの電源は入っていますか。 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 入力信号を切り替えてみてください（「2-2. 入力信号を切り替える」(P.10) 参照）。
・入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。 例： <div data-bbox="284 1440 657 1576" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> DVI 信号エラー </div>	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「6-2. 対応解像度」(P.31) 参照）。 コンピュータを再起動してみてください。 グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。


4-2. 画面に関する症状

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> 調整メニューの「ブリリアンス」を調整してください。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、お客様ご相談窓口にご相談ください。）
2. 画面が突然暗くなった / 調整メニューの「ブリリアンス」の値を上げてても画面が明るくならない	<ul style="list-style-type: none"> この製品は常に本体内部の温度を監視しています。内部が高温になり、一定の温度を超えると、内部温度を下げるため、輝度を制限することがあります。この場合、制限以上の輝度に設定することができません。この状態は、内部の温度が下がると元に戻ります。本体内部の温度がさらに高くなった場合には、自動的にモニターの電源が切れます。
3. 文字がぼやけて見える	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「6-2. 対応解像度」(P.31) 参照）。
4. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。
5. 画面に緑、赤、青、白のドットが残る / 点灯しないドットが残る	<ul style="list-style-type: none"> これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
6. 画面上に干渉縞が見られる / 液晶パネルを押し跡が消えない	<ul style="list-style-type: none"> 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
7. 画面を拭いても曇りが取れない / ガラスの内側に結露が生じた	<ul style="list-style-type: none"> 画面を拭いても曇りが取れない場合は、液晶パネルを保護しているガラスの内側に結露が生じていることがあります。この場合は、モニターの電源を入れて画面を表示してください。しばらくすると結露は消えます。また、ドライヤーなどでガラスを温めることで結露が消えるまでの時間が短くなる場合があります。なお、このようにガラスの内側に結露が発生しても、製品の故障や劣化には影響はありません。

4-3. タッチパネルに関する症状

症状	原因と対処方法
1. タッチ操作が効かない	<ul style="list-style-type: none">• タッチパネル操作が無効になっている可能性があります。[F5] ボタンを押して有効に切り替えてください。[F5] ボタンが青色に点灯します。• モニターとコンピュータがUSBケーブルで接続されていることを確認してください。• モニターの電源を入れなおしてみてください。• この製品は、タッチパネル面に水や、その他のスタイラス、スマートフォンを含む誤動作を引き起こす可能性がある物を検出すると、自動的にタッチパネル操作を無効化します。（ウォーターディテクション機能） 次のメッセージが表示される場合は、タッチパネル面の水や物などを取り除いてください（「クリーニングの仕方」（P.4）参照）。 <div data-bbox="821 763 1278 853" style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">水などを検出しました。 タッチ入力停止中。</div> <p>しばらく待ってから操作をやりなおしてください。</p> <ul style="list-style-type: none">• モニターおよびコンピュータの電源コードのアースが接地されていることを確認してください。アースが接地されていないと、誤動作の原因となることがあります。• 蛍光灯などのノイズ発生源が近くに設置されていないことを確認してください。ノイズ発生源が近くに設置されていると、誤動作の原因となることがあります。• [F5] を2秒以上押して、タッチパネルの感度調整を実行してみてください。「キャリブレーション中です。画面に触れないで下さい。」というメッセージが画面から消えるまで、タッチパネルには触れないでください。• TPOffsetでタッチパネルの感度調整を実行してみてください。• モニターに複数のコンピュータを接続している場合、そのうちの1台のみタッチ操作が可能です。タッチ操作をするコンピュータとモニターが、USBケーブルで接続されていることを確認してください。

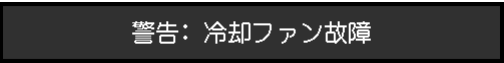
症状	原因と対処方法
<p>2. タッチ位置とカーソル位置がずれる / カーソルが飛ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> • セットアップマニュアルに記載のケーブルでモニターとコンピュータを接続してください。変換アダプタなどを利用すると、タッチパネルが正しく動作しない場合があります。 • モニターの電源を入れなおしてみてください。 •  を2秒以上押して、タッチパネルの感度調整を実行してみてください。「キャリブレーション中です。画面に触れないで下さい。」というメッセージが画面から消えるまで、タッチパネルには触れないでください。 • モニターおよびコンピュータの電源コードのアースが接地されていることを確認してください。アースが接地されていないと、誤動作の原因となることがあります。 • TPOffsetでタッチパネルの感度調整を実行してみてください。 • モニターの位置や角度を変更すると、カーソルが飛ぶ場合があります。 • 金属をタッチパネル面に近づけた状態で使用するとカーソル位置がずれる場合があります。 • タッチパネルが汚れていると、誤動作する場合があります。タッチパネル面のクリーニングをおこなってください（「クリーニングの仕方」(P.4) 参照）。 • タッチパネル面のクリーニングに帯電防止剤入りのクリーナを使用するとタッチパネルの感度に影響し、カーソル位置がずれる原因になることがあります。 • コンピュータやモニターの起動時、およびケーブルの接続後、5秒間はタッチしないでください。カーソル位置がずれたり、タッチ操作が効かなくなる場合があります。その場合は、およそ2分間タッチパネルに触れずにおくか、モニターの電源を入れなおしてください。それでも改善しないときは、再度キャリブレーションを実行してください。
<p>3. カーソルがタッチ位置に表示されず、モニターの中央を中心に点対称の位置に表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 再度キャリブレーションを実行してください。
<p>4. カーソルが揺れる / 描画線が安定しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> • モニターおよびコンピュータの電源コードのアースが接地されていることを確認してください。アースが接地されていないと、誤動作の原因となることがあります。 •  を2秒以上押して、タッチパネルの感度調整を実行してみてください。「キャリブレーション中です。画面に触れないで下さい。」というメッセージが画面から消えるまで、タッチパネルには触れないでください。 • TPOffsetでタッチパネルの感度調整を実行してみてください。 • 金属の影響がある場合、カーソルが安定しない場合があります。 • 複数台のモニターを近接して設置している場合は、モニター間の間隔をあけて設置してください。

症状	原因と対処方法
5. キャリブレーションが正しく動作しない	<ul style="list-style-type: none"> •  を2秒以上押して、タッチパネルの感度調整を実行してみてください。「キャリブレーション中です。画面に触れないで下さい。」というメッセージが画面から消えるまで、タッチパネルには触れないでください。 • TPOffsetでタッチパネルの感度調整を実行してみてください。 • いったん調整状態をリセット（Windowsコントロールパネルの「タブレットPC設定」/「Tablet PC設定」の「画面」タブで「リセット」をクリック）して、再度キャリブレーションを実行してください。
6. タッチ音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータの音声出力端子からタッチ音を鳴らす設定をしている場合は、スピーカーを接続してください。 • DMT-DDをインストールして必要な設定をおこなってください。詳細は、DMT-DDの取扱説明書（CD-ROM内）を参照してください。 • Windows標準ドライバを使用している場合は、タッチ音を鳴らすことはできません。

注意点

- TPOffset（タッチパネルの感度調整用ソフトウェア）については、TPOffsetの取扱説明書（CD-ROM内）を参照してください。

4-4. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 画面に次のようなメッセージが表示される 	<ul style="list-style-type: none"> • 本体の冷却ファンが正常に動作していないときに表示されます。本体背面の冷却ファンの状態を確認してください。 • ファンを交換する場合は、「5-1. 冷却ファンの交換方法」(P.26)を参照してください。
2. 調整メニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> • 調整メニューまたは操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「操作ロック」(P.30)参照）。
3. ファンの動作音が気になる	<ul style="list-style-type: none"> • この製品は、本体内部の温度上昇を抑えるための冷却ファンを内蔵しています。設置位置によっては動作音が聞こえる場合があります。

第5章 メンテナンス

5-1. 冷却ファンの交換方法

注意点

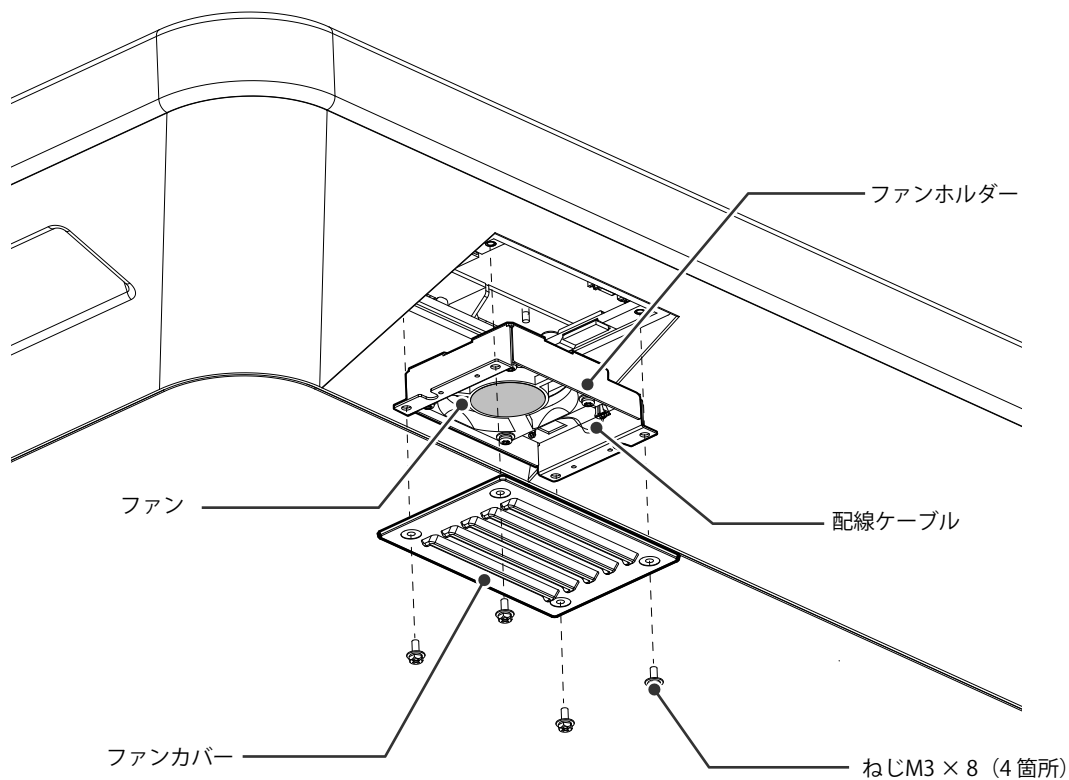
- ・ファンを交換する場合は、必ず手順どおりにおこなってください。誤った取り扱いに対しては、当社はその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

参考

- ・交換部品については、別紙のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

1. AC電源コードとDC電源端子台を取り外します。

2. ファンカバーとファンホルダーを取り外します。

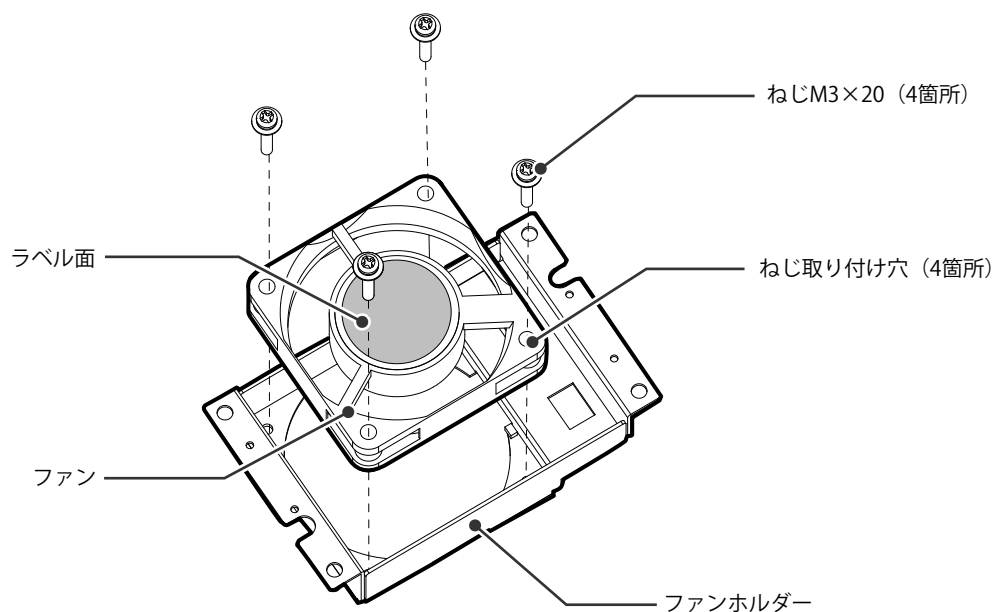


1. カバーを固定しているねじ（4箇所）を取り外します。
取り外しには、呼び径3 mmのめがねレンチ（オフセットあり）をお使いください。
2. カバーを取り外します。
3. モニターに接続している配線ケーブルを取り外します。
4. ホルダーを取り外します。
ホルダーは、面ファスナーでモニターに仮止めされています。

注意点

- ・配線ケーブルはコネクタ部分を持って取り外してください。配線ケーブル部分を引っ張ると、コネクタが破損する可能性があります。

3. ファンホルダーからファンを取り外します。



1. ファンを固定しているねじ（4箇所）を取り外します。
取り外しには、プラスドライバをお使いください。
2. ファンを取り外します。

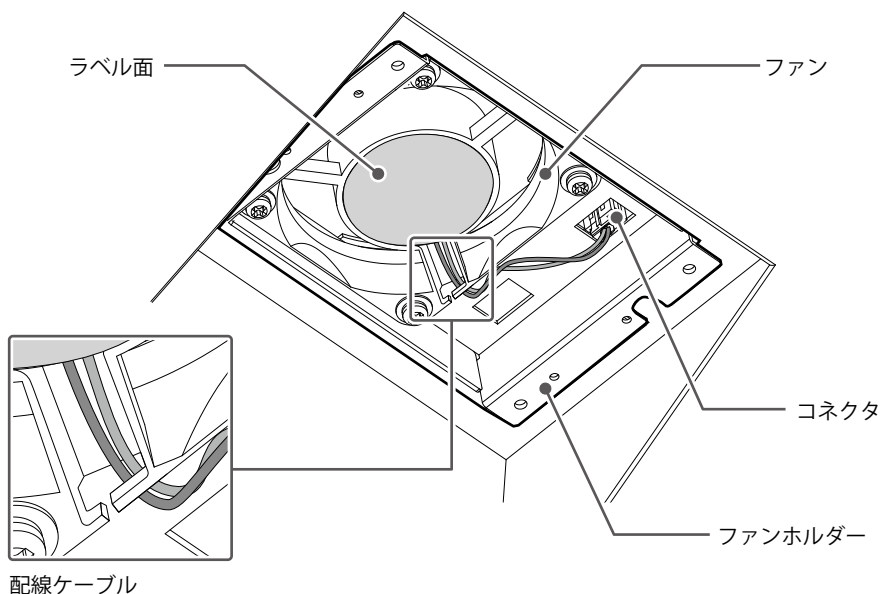
4. 新しいファンをファンホルダーに取り付けます。

注意点

- ファンの取り扱いに注意してください。ファンを落として衝撃を与えるたりすると故障の原因となります。
- ファンの向きに注意して取り付けてください。

1. 手順3 (P.27) で取り外したねじを使って、ファンをホルダーに固定します（推奨トルク：0.78 ±0.2 N・m）。ファンのラベル面が外側になるように取り付けてください。

5. ファンホルダーとファンカバーを取り付けます。



1. ホルダーをモニターに取り付けます。
2. 配線ケーブルをモニターに接続します。コネクタを確実に接続してください。
3. 配線ケーブルをファンの溝に引っ掛けます。
4. 手順2 (P.26) で取り外したねじを使って、カバーをモニターに固定します。

参考

- 交換後に、次の方法で動作確認をしてください。
 1. ファンが回転することを確認します。
 2. 画面に「警告: 冷却ファン故障」のメッセージが出ていないことを確認します。

警告: 冷却ファン故障

5-2. ブザー警告音の定期確認

- このモニターに搭載しているブザーは、システム側からの制御によりブザー警告音を鳴らすことができます。
- ブザー警告音が鳴ることを定期的に確認することをお勧めします。確認には、システム側からの制御を使用してください。

参考

- システム側からの制御の詳細は、別紙のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

第6章 ご参考に

6-1. 仕様

液晶パネル	種類	VA		
	バックライト	LED		
	サイズ	138.8 cm (54.6) 型		
	解像度	3840ドット × 2160ライン		
	表示面積 (横×縦)	1209.6 mm × 680.4 mm		
	画素ピッチ	0.315 mm × 0.315 mm		
	表示色	約1677万色		
	視野角 (水平 / 垂直) (標準値)	178° / 178°		
	最大輝度 (標準値)	610 cd/m ²		
	コントラスト比 (標準値)	4000 : 1		
	応答速度 (標準値)	中間階調域 : 8 ms		
タッチパネル	方式	投影型静電容量方式		
	通信方式	USB転送		
	表面処理	アンチグレア、防指紋		
	表面硬度	5H		
	対応OS ^{※1}	Windows 10 (32ビット版 / 64ビット版) Windows 8.1 (32ビット版 / 64ビット版) (Macには対応していません。)		
	同時タッチ点数	10点		
映像信号	端子	DisplayPort (HDCP対応) × 1 HDMI (HDCP対応) × 1 DVI-D (Single Link) × 1		
	デジタル走査周波数 (水平)	DisplayPort : 31 kHz~135 kHz HDMI : 31 kHz~135 kHz DVI-D : 31 kHz~75 kHz		
	デジタル走査周波数 (垂直)	DisplayPort : 29 Hz~61 Hz (720 × 400時 : 69 Hz~71 Hz) HDMI : 29 Hz~61 Hz (720 × 400時 : 69 Hz~71 Hz) DVI-D : 59 Hz~61 Hz (720 × 400時 : 69 Hz~71 Hz)		
	ドットクロック (最大)	DisplayPort / HDMI : 599 MHz DVI-D : 164 MHz		
通信	端子	RS-232C :	D-Sub9ピン (メス)	
		RS-485 :	端子台 (8ピン)	
USB	ポート	アップストリーム × 1 ダウンストリーム × 2		
	規格	USB Specification Rev.2.0		
電源	電源入力	AC	100 - 240 V +10% / -15%、50 / 60 Hz、2.00 - 1.00 A	
		DC	24 V +30% / -10%、8.30 A	
	最大消費電力	AC	195 W以下	
		DC	199 W以下	
	省電力時消費電力	AC	20 W以下	(DisplayPort入力のみ、USB機器非接続時)
		DC	15 W以下	
待機時消費電力	AC	20 W以下	(入力信号なし、USB機器非接続時)	
	DC	15 W以下		
機構	外観寸法	1334 mm × 888 mm × 121 mm (幅 × 高さ × 奥行)		
	質量	約71.7 kg		
動作環境条件	温度	-15 °C~55 °C ^{※2}		
	湿度	10 %~90 % (R.H.、結露なきこと) ^{※3}		
非動作環境条件	温度	-20 °C~60 °C ^{※2}		
	湿度	10 %~90 % (R.H.、結露なきこと) ^{※3}		
輸送 / 保存環境条件	温度	-20 °C~60 °C ^{※2}		
	湿度	10 %~92 % (R.H.、結露なきこと) ^{※3}		
視距離 (推奨)	1086 mm以上 (※IEC 62288に基づく)			
保護構造	前面 : IP65 背面 / 側面 : IP22			

※1 OSメーカーのサポート終了をもって当社サポートも終了となります。

※2 スタイラスは0 °C~45 °C

※3 スタイラスは20 %~75 %

● 主な初期設定値

カラーモード	Custom
ブリリアンス	Custom : 100 % Day : 71 % Dusk : 55 % Night : 31 %
コントラスト	100 %
色温度	6500 K
ガンマ	2.2
色合い	0
色の濃さ	0
画面拡大	DVI : アスペクト比固定 HDMI : 自動 DisplayPort : アスペクト比固定
パワーセーブ	オン
ランプ輝度	4
言語選択	英語
入力自動検出	オフ
起動ロゴ	オン
操作ロック	オフ
バックライト・オフモード	オフ
ECDISインジケータ	オン

6-2. 対応解像度

この製品は次の解像度に対応しています。

○：対応 －：非対応

解像度	垂直走査周波数 (Hz)	DisplayPort			HDMI			DVI		
		1画面	PinP	PbyP	1画面	PinP	PbyP	1画面	PinP	PbyP
640 × 480	59.940	○	○	○	○	○	○	○	○	○
640 × 480	60.000	○	○	○	○	○	○	○	○	○
720 × 400	70.087	○	○	○	○	○	○	○	○	○
720 × 480	59.941	○	○	○	○	○	○	○	○	○
720 × 480	59.940	○	○	○	○	○	○	—	—	—
720 × 480	60.000	○	○	○	○	○	○	—	—	—
800 × 600	60.317	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1024 × 768	60.004	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1280 × 960	60.000	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1280 × 1024	60.020	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1280 × 720	59.940	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1280 × 720	60.000	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1600 × 1200	60.000	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1680 × 1050	59.883	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1680 × 1050	59.954	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1920 × 1080	29.970	○	○	○	○	○	○	—	—	—
1920 × 1080	30.000	○	○	○	○	○	○	—	—	—
1920 × 1080	59.940	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1920 × 1080	59.963	○	○	○	○	○	○	—	—	—
1920 × 1080	60.000	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1920 × 2160	59.988	—	—	○	—	—	○	—	—	—
2560 × 1440	59.951	○	—	—	—	—	—	—	—	—
3840 × 2160 ^{※1}	29.970	○	—	—	○	—	—	—	—	—
3840 × 2160 ^{※1}	29.981	○	—	—	—	—	—	—	—	—
3840 × 2160 ^{※1}	30.000	○	—	—	○	—	—	—	—	—
3840 × 2160 ^{※1}	59.940	○	—	—	○	—	—	—	—	—
3840 × 2160 ^{※1}	59.997	○	—	—	—	—	—	—	—	—
3840 × 2160 ^{※1}	60.000	○	—	—	○	—	—	—	—	—

※1 推奨解像度です。

参考

・ スキャン方式はプログレッシブにのみ対応しています。

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。



USB Power Delivery Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の商標です。



DICOMは、National Electrical Manufacturers Associationが所有する、医用情報のデジタル通信に関する規格の登録商標です。

Kensington、MicrosaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

ThunderboltはIntel Corporationの米国および/またはその他の国における商標です。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

AdobeはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、macOS、Mac OS、OS X、Macintosh、ColorSyncはApple Inc.の登録商標です。

Ethernetは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i-Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、SafeGuard、Screen Administrator、Screen InStyle、ScreenCleaner、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

その他の会社名、商品名およびロゴマークは所有者の商標または登録商標です。

ライセンス

この製品上で表示される文字には、リコーインダストリアルソリューションズ株式会社が制作したビットマップフォントを使用しています。

試験規格

この製品は、IEC60945 4thに準拠しています。

装置カテゴリー：b) 風雨からの防護形

船級型式承認

この装置は、次の船級の型式承認を取得予定です。

NK（日本海事協会）

DNV（DNV AS）

ABS（アメリカ船級協会）

LR（ロイド船級協会）

※船級の取得状況については、当社Webサイトでご確認ください。www.eizo.co.jp

その他規格

この装置は、EU RO MR TAC（EU相互承認）を取得予定です。

※取得状況については、当社Webサイトでご確認ください。www.eizo.co.jp

注意点

- スタイラスとスタイラスホルダーは、試験規格、船級型式承認および、その他規格の対象外です。
-

